

1. はじめに

1.はじめに

平成7年1月17日早暁、神戸市ならびに淡路島を中心に襲った「兵庫県南部地震」は、文字通り驚天動地の出来事だった。

当社では、直ちに、本社に現地支援としての「兵庫県南部地震対策本部」および大阪支店に現地での対応のための「地震対策本部」を設置し、全社の組織を結集することにより、関係官公庁、企業、個人等多方面からの様々な要望・要請に迅速・的確に対応して、被災地の復旧・救援の活動を行ってきた。

その一環として、本社対策本部には、施工本部および技術本部の総力をあげた工事隊が結成され、地震被害調査をはじめ、特定の構造物等を対象とした応急復旧工事の計画提案、被災度調査、さらに撤去・復旧工事の計画提案等、数多くの技術的検討を行ってきている。

本報告書は、これら工事隊の活動に基づいた、土木関連の技術的成果の中間報告である。

今回の地震の災害の大きさに比べれば、当社の関与できた範囲はあまりにも小さい。しかしながら、その全容が明らかになるには、多くの時日を要するものと考えられ、現時点での技術検討経緯を纏めておくことも意義のあることと考えた。

今後も、引き続き調査・研究を進めるので、その結果得られた、新たな知見や研究成果についてもしかるべき機会に報告書として公表する予定である。